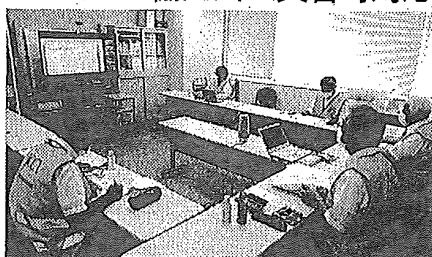


建コン協九州の災害時対応演習



情報伝達など確認

建設コンサルタツ協会九州支部（田中清支部長）は1日、協会本部と各支部との2021年度災害時対応演習を実施した。写真。午前11時に三重県熊野灘沖を震源とするマグニチュード9・0の地震が発生した想定の下、中部支部に現地本部を設置し、ウェブ会議システムを使って初動時の情報伝達や支援体制を確認した。

||2面参照

福岡市内の九州支部には、田中支部長をはじめ防災委員が集まり、本部との演習と並行して会員会社に対して被災状況や支援可能人員を確認した。また、九州地方整備局からの支援要請に応じて会員153社に対応の可否を連絡し、ほとんどの会員会社から連絡を受けた。

演習後、田中支部長は、「震災被害の影響で現地本部が動けない場合のバックアップ体制を構築する必要があり」と問題提起した。